

第8回 女子中高生のための 関西科学塾

独立行政法人科学技術振興機構
女子中高生の理系進路選択支援プログラム



<http://kagaku-juku.jp/>

News Letter Vol.3

2013. 12. 13. 発行

理系進学をサポートする

女子中高生のための関西科学塾が日程Dが開催されました!!

理科や実験が大好きで理系進学を目指していたり、理系か文系か迷っている女子中高生に、理系について理解を深めてもらい、将来理系に進学していただけるようサポートをする「女子中高生のための関西科学塾」の日程Dが開催されました。今回は、けいはんなプラザで女性研究者の方々の研究紹介や交流会を実施しまし

た。11月9日の当日は、企業や研究機関、大学などで活躍されている女性理系研究者の方々が、現在研究されている内容を紹介されたり、女子中高生の皆さんへメッセージを伝えてくださいました。その後はグループに分かれて交流会も実施しました。今回のニュースレターは女性研究者紹介をお伝えします。



日 時：2013 年11月 9 日 (土) 12:00-15:00

場 所：けいはんなプラザ 「黄河」



開会あいさつの様子

●参加数とその内訳●

中学生	17名
高校生	12名
同伴者	11名
計	40名

- 12:00 受付
- 13:00 開会あいさつ 小林 毅 実行委員
(奈良女子大学 理学部 数学科 教授)
- 13:15 女性研究者紹介
- 14:05 女性研究者との交流会
- 14:50 閉会あいさつ 小林 毅 実行委員
(奈良女子大学 理学部 数学科 教授)
- 15:00 閉会

女性研究者の方から研究紹介や女子中高生の皆さんへメッセージをいただきました。一部ご紹介します。

- 新しい事や苦手な事をしなければならなくなった時、失敗したらカッコ悪い、と思いが頭をよぎるかもしれませんが、気にしないようにして取り組んでみてほしいです。
- よく遊びよく学んでください。可能性は無限に広がっています。いろんな経験や知識を生かして、夢を実現してください。今は理系が苦手と言う人も、食わず嫌いかもしれません。

参加した生徒さんたちは、グループに分かれ女性研究者の方々と、研究内容や疑問に思っていることなどを質問していました。



交流会の様子

今年で4回目となるけいはんなの女性研究者との交流会が実施されました。当日は40名の女子中高生と保護者の皆さんの参加がありました。大学などの教育機関、企業等の研究所などで研究を行っている13名の女性研究者の皆さんを囲んで、研究内容、子育てなども含む研究生活のこと等々を、純粋に理論的な観点、商品を提供する観点等様々な視点から、聞くことが出来ました。

実行委員 奈良女子大学 小林 毅

● 女性研究者の紹介 ●

柳川由紀子さん、井上美智子さん、寺田佳世さん、岡千緒さん、松尾幾代さん、吉野直美さん、米澤順子さん

柳川 由紀子

オムロン株式会社 技術本部 G1推進プロジェクト

人間がものを目で見て脳で認識するように、コンピュータが画像から情報を取り出す方法を研究されています。現在は働きながらドクター取得を目指している、というお話もありました。

井上 美智子

奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科

普段使っているいろいろなコンピュータのシステムを、使う人に気づかれずに「頼れる」システムにする、という研究をされています。女性が少ない環境で研究をされてきましたが、それだからこそ、女性同士の交流を積極的に行い広げる活動もしている、とのことでした。

寺田 佳世

奈良先端科学技術大学院大学 物質創世科学研究科

らせん高分子を用いた機能性生体材料の研究開発をされています。いまは研究に専念する毎日です、というお話をされていました。

岡 千緒

奈良先端科学技術大学院大学 バイオサイエンス研究科

関節炎や脳梗塞などのように、遺伝子の異常によって引き起こされる病気に関連した遺伝子の働きを研究されています。大学院生の時に結婚・出産をしたことなどご自身の積極的な研究生活についてお話をされていました。

松尾 幾代

アクティブリンク株式会社

パワー増幅ロボットの研究開発をされています。人間の代わりにロボットが作業する、という考えかたではなく、人間の作業のサポートをする「パワーアシスト機器」の機構設計・組立をされています。前職では分野の異なる機器の設計もされていましたが、そのスキルも今の仕事にしっかりと役立っている、というお話もありました。

吉野 直美・米澤 順子

公益財団法人 地球環境産業技術研究機構

大気中の二酸化炭素をどのように減らすか、ということに関する基礎研究をされています。これまでに様々な機関で研究をされてきた経歴についてもお話がありました。

村井 紘子

奈良女子大学理学部 数学

ひものつくる図形である「結び目」を数学的に研究されています。2年前に結婚・出産をされた経験についてもお話がありました。

嶽村 智子

奈良女子大学理学部 数学

数学の確率論について研究されています。次にどう動くか簡単に予想することができないものを確率論を用いて解析されています。

奈良 久美

奈良女子大学 生物科学科

植物の体内で水がどのように運ばれて行くかについて、光による制御機構に焦点をあてて研究されています。これまで様々な研究機関で研究をしてきたこと等お話をされていました。

長尾 英里

奈良女子大学大学院学生 情報科学

物の特徴やパターンを憶えさせることによって3次元の物体のデータからその物体が何であるかコンピュータに認識できるようにする研究をされています。いまは初めての学会発表に向けて研究に取り組む毎日だそうです。

米田 明日香

奈良女子大学大学院学生 情報科学

人間の動きをコンピュータに認識させ、ヴァーチャルの世界でも同じように物体を動かせるようにするための研究が行われています。高校の時は勉強が苦手だったけれど、今は研究を楽しんでいるというお話がありました。

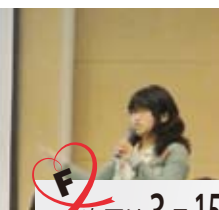
川寄 美波

奈良女子大学大学院学生 情報科学

今、世の中にあふれている、まだ体系化されていないような、インターネット上の知識情報を体系化する手法について研究されています。

● 参加者の感想 ●

- ▶ 実際に研究者の方や大学生のお話を聞くことができ理系の人の勉強などイメージが具体的になりました。(高校1年)
- ▶ 初めて情報関係の方のお話を聞くことができました。元々は生物や薬学に興味があったのですが、今回プログラミングを勉強してみたいと思いました。(中学2年)



村井紘子さん、嶽村智子さん
奈良久美さん、長尾英里さん
米田明日香さん、川寄美波さん

お問い合わせ

京都大学理学研究科社会交流室 関西科学塾運営事務局

URL: <http://kagaku-juku.jp> (最新情報をご覧ください)

TEL & FAX: 075-762-1345 E-mail: juku@cr.sci.kyoto-u.ac.jp

主催: 京都大学理学部・理学研究科

共催: 京都大学女性研究者支援センター、神戸大学男女共同参画推進室、大阪大学男女共同参画推進オフィス、奈良女子大学男女共同参画推進機構、大阪府立大学、NPO 法人花山星空ネットワーク、株式会社資生堂、日本物理学会

協力: 男女共同参画学協会連絡会、日本分子生物学会、日本遺伝学会、日本鉄鋼協会、日本金属学会
後援: 文部科学省、愛知県教育委員会、滋賀県教育委員会、京都府教育委員会、大阪府教育委員会、兵庫県教育委員会、奈良県教育委員会、和歌山県教育委員会

*本事業は独立行政法人科学技術振興機構女子中高生の理系進路選択支援プログラムの受託事業です



今回は3月15・16日(土・日) 京都大学・トラベラーズイン泊

1泊2日で京都大学にて実験・実習を実施します。学んだことや感じたことをみんなと考え発表します。優れた発表は表彰されます! 詳細は、追ってお知らせします。

*本事業開催中に事務局で撮影する写真については、ウェブサイトや印刷物等に掲載することがあります。